

带状疱疹ワクチンが定期接種に

今年度から、65 歳以上の方などを対象に带状疱疹ワクチンが定期接種化されました。対象者には、接種助成券を 4 月下旬に送付しています。接種助成券に記載された医療機関に予約した上で、助成券を持参し接種してください。

問合先 岩見沢保健センター（4 西 3 であえーる岩見沢 3 階） ☎ 25-5540



带状疱疹って？

水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経に沿って痛みを伴う水疱（水ぶくれ）が現れる皮膚の病気です。合併症の一つとして、皮膚の症状が治った後にも痛みが残ることがあり、日常生活に支障を来すこともあります。

対象

- 年度内に 65 歳を迎える方
 - 60 歳以上 65 歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な方
 - 令和 11 年度までの経過措置として、各年度内に 70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳になる方
- ※ 100 歳以上の方は、令和 7 年度に限り対象になります。

ワクチンの種類

带状疱疹ワクチンには 2 種類あり、接種方法や効果、持続期間、副反応などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

区分		生ワクチン（阪大微研）	組換えワクチン（GSK 社）
接種方法		皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔		1 回	2 回（2 カ月以上の間隔を空ける） ※医師が早期の接種が必要と判断した場合、接種間隔を 1 カ月まで短縮できます。
1 回の自己負担額		4,400 円	11,500 円
		※生活保護世帯の方は、生活保護受給証明書の提出で無料になります。	
予防効果	接種後 1 年	6 割程度	9 割以上
	接種後 5 年	4 割程度	9 割程度
	接種後 10 年	－	7 割程度
接種条件		病気や治療によって免疫が低下している方は接種できません	免疫の状態にかかわらず接種可能

ワクチンの安全性

ワクチン接種後に、疼痛や発赤などの副反応がみられることがあります。また、生ワクチンではアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンではショック、アナフィラキシーがみられることがあります。

他のワクチンとの同時接種

- 医師が特に必要と認めた場合、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチンなどと同時接種できます
- 生ワクチンを接種する場合、他の生ワクチンとは 27 日以上の間隔を空けてください

予防接種健康被害救済制度

予防接種は感染症を予防するために重要なものですが、健康被害が起ることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。詳しくは、岩見沢保健センターへご相談ください。

带状疱疹について詳しく知りたい方は、厚生労働省ホームページをご覧ください

